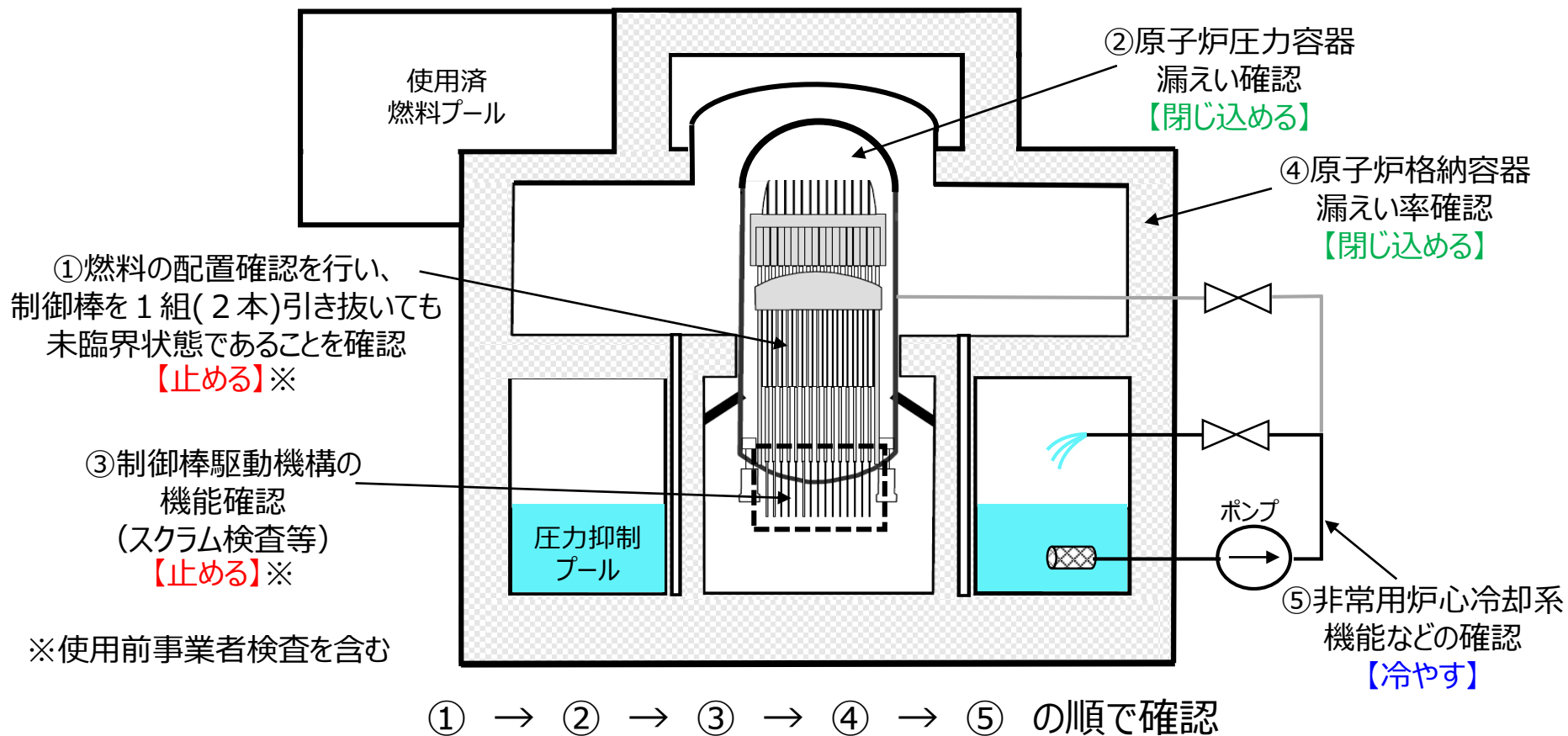


燃料装荷後の健全性確認について

- 燃料装荷についての当社準備は予定通り進捗（使用前確認変更申請に記載した燃料装荷予定日：4月15日）
- 燃料装荷を行った後、主に「止める」「冷やす」「閉じ込める」機能に問題がないか確認
- 燃料装荷や健全性確認を進める中で気づきがあれば立ち止まって、一つひとつ確実に対応

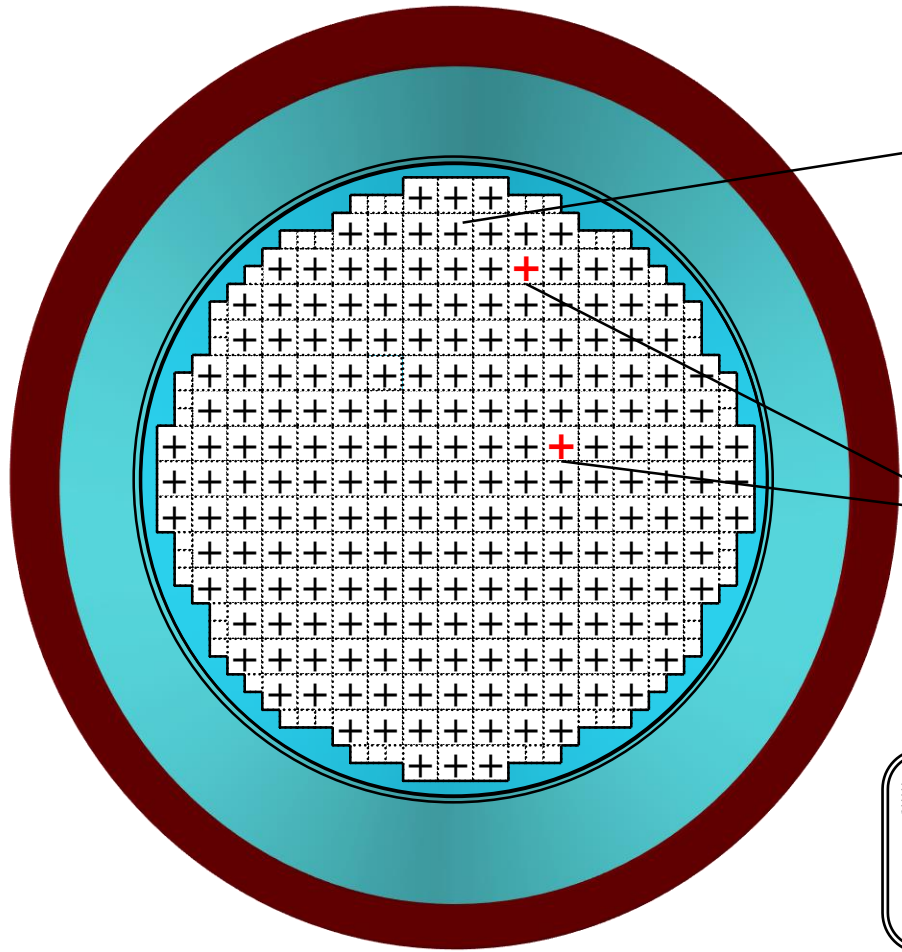


① 燃料装荷後の燃料配置確認・未臨界状態の確認

- 燃料装荷後、すべての燃料が正しい位置に配置されたことを確認
- 制御棒 1 組（2 本）を完全に引き抜いた状態であっても未臨界状態※であることを確認

※未臨界状態：核分裂の連鎖反応が連続的に続かないこと

<原子炉（上から見た図）>



【燃料の配置確認】

- ・燃料装荷後、水中カメラで燃料集合体に刻印された管理番号から、燃料が正しい位置に配置されていることを確認

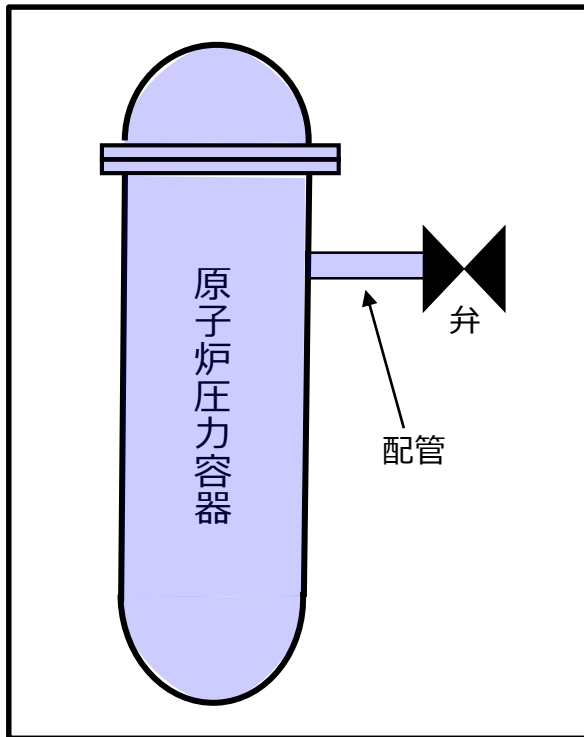
【未臨界状態であることの確認】

- ・1組の制御棒を完全に引き抜いたとしても、未臨界状態であることを確認する

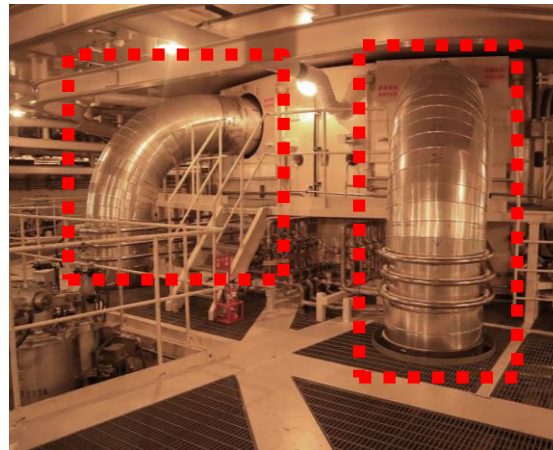
- 燃料
- + 制御棒
- + 引き抜く制御棒

② 原子炉圧力容器漏えい確認

- 原子炉圧力容器の蓋を閉じ、圧力容器・配管への水張り
- 圧力容器を通常運転圧力以上まで加圧し、そのまま4時間以上その圧力を保持
- 圧力保持後に、原子炉圧力容器や配管・弁などから水の漏えいがないことを目視により確認



確認する配管の例
主蒸気配管

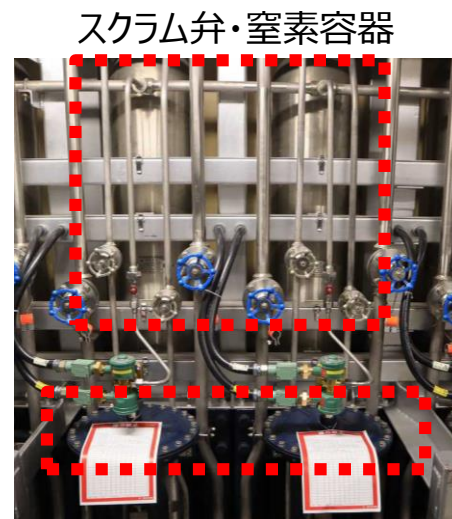
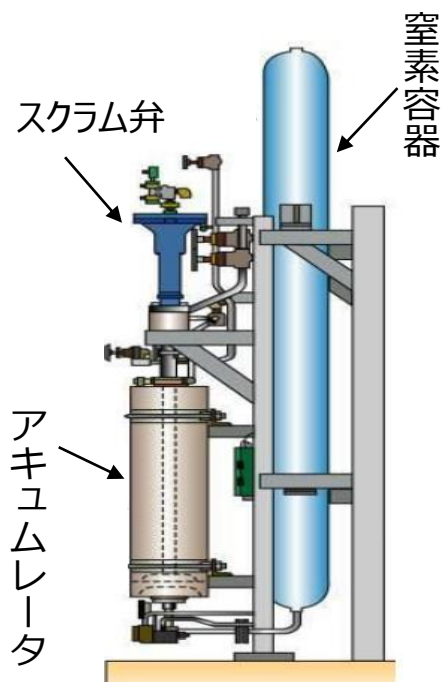
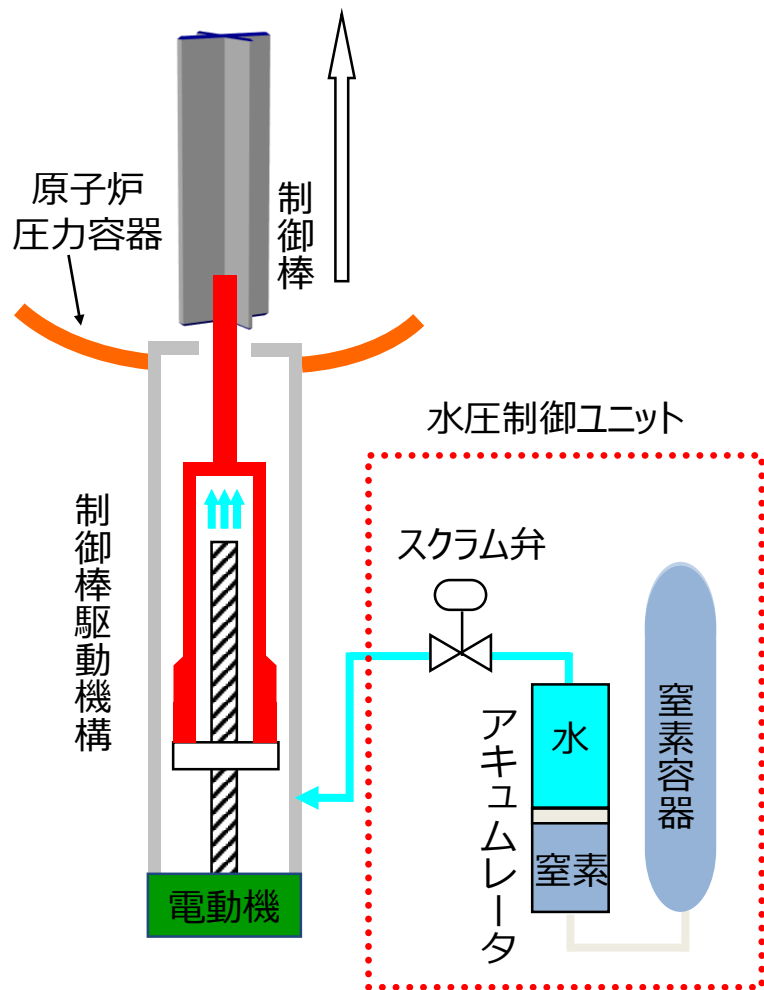


確認する弁の例
主蒸気隔離弁



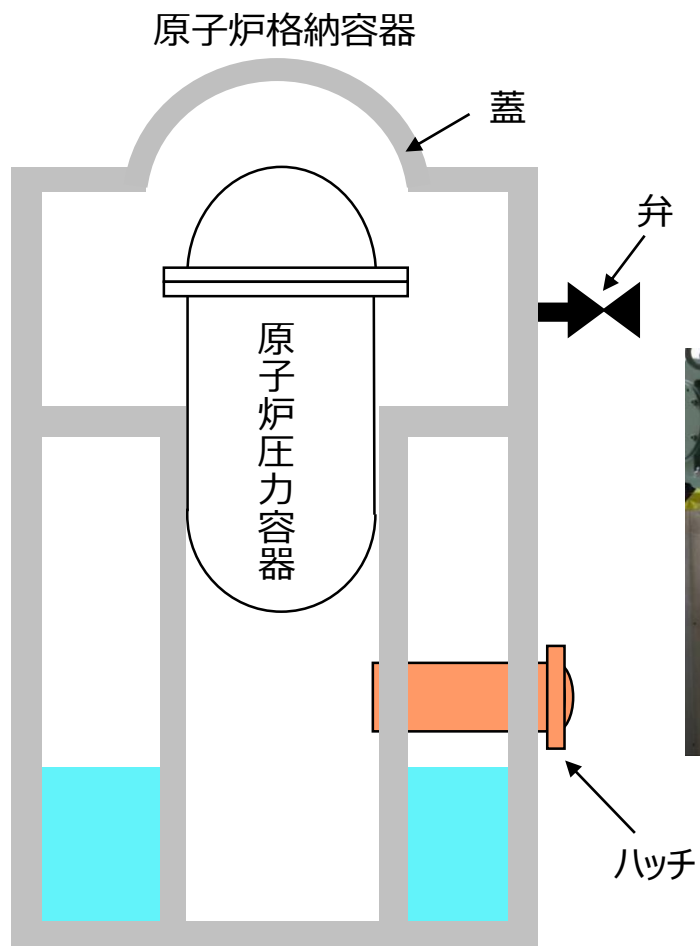
③ 制御棒駆動機構の機能確認

- 制御棒 1 組（2 本）を全て引き抜いた状態とする
- 引き抜いた制御棒を水圧で急速に挿入し、原子炉緊急停止（スクラム）機能を確認
- 205本ある全ての制御棒について実施

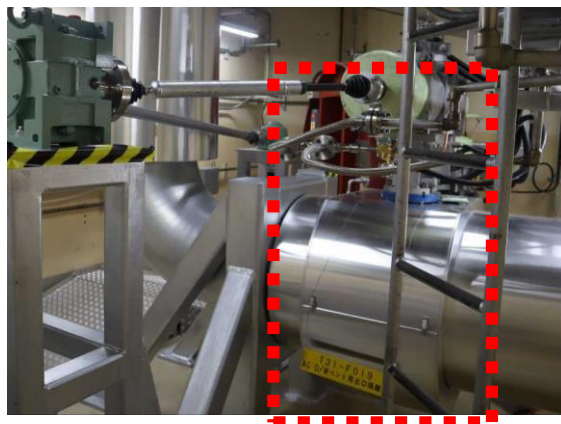


④ 原子炉格納容器漏えい率確認

- 制御棒駆動機構の機能確認後、格納容器の蓋や弁・ハッチを閉じ、窒素ガスを充填し加圧
- 温度・圧力が安定した後、格納容器から漏れ出る 1 日当たりの窒素ガスの漏えい率を測定
- 測定した漏えい率が判定基準以下であることを確認



確認する弁の例
ドライウェルベント用出口隔離弁

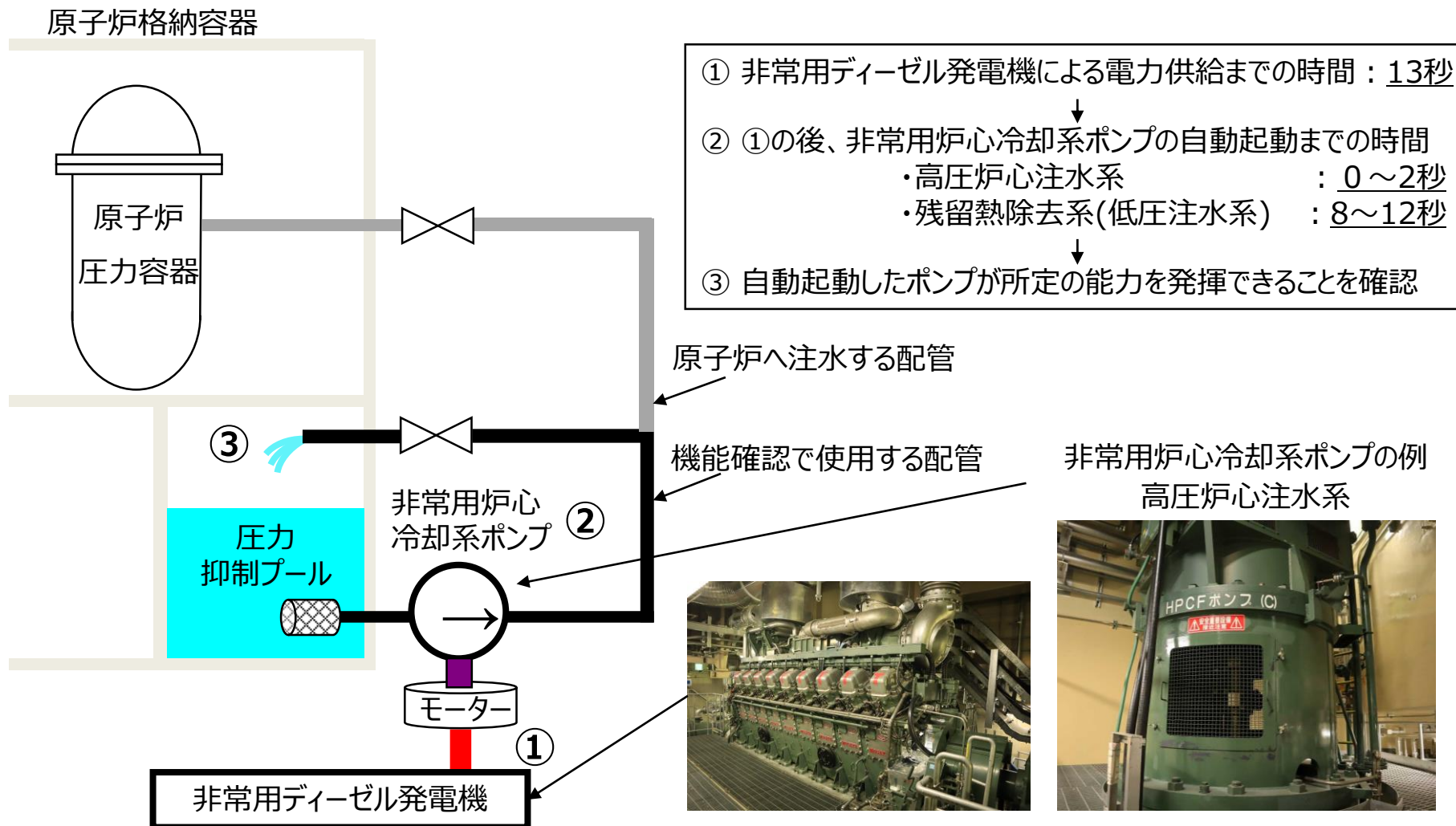


確認するハッチの例
下部格納容器（ドライウェル）ハッチ



⑤ 非常用ディーゼル発電機および非常用炉心冷却系機能確認

- 原子炉格納容器の漏えい率確認後、非常用ディーゼル発電機および非常用炉心冷却系が所定の時間内に自動起動が完了することを確認
- また、自動起動したポンプが所定の能力を発揮できることを確認



1. 使用前確認に伴う保安規定の適用について

- 使用前確認（試験使用承認）と同時に新規制基準に基づく保安規定が適用
- これは、安全最優先な発電所運営に資するものであり、SA設備（重大事故等対処設備）の運用・維持管理や宿直要員体制の強化、自然災害への備えなどが規定

SA設備の運用 維持管理

- ✓ 新規制基準対応として設置したSA設備（消防車、電源車、可搬型モニタリングポスト等）の運用・維持管理が必要
- ✓ 発電所の運営に必要な各設備の動作可能台数等が規定

宿直要員体制 の強化

- ✓ 宿直体制を8名→51名体制に変更
- ✓ 5号機サービス建屋内と大湊側高台に要員を分散配置
- ✓ 力量確認を経た社員が任用。シーケンス訓練・大規模損壊訓練、総合防災訓練に加え、それらの要素訓練を定期的に行うことで力量維持・向上

自然災害への 備え

- ✓ 自然災害（地震、火災、津波、竜巻など）による発電所や設備への波及影響を踏まえた、主に運用面での対応を規定
(例) 竜巻対策：警報が鳴ったら資機材等を固縛。車両を退避
火災・津波対策：可燃物、漂流物となりうる資機材の指定場所以外への設置を禁止

2. SA設備の運用・維持管理について

- SA設備の運用・維持管理にあたっては、既存の設備と同様に巡視点検や定例試験が求められ、定期的に不具合等がないかを確認
- 既存の設備が問題なく使用できるとしても、SA設備に不具合が発生し、保安規定で求められる事項を満たさないと判断した場合は、「運転上の制限からの逸脱（＝LCO逸脱）」を宣言し、復旧作業とともに、通報公表基準に則った対応を実施

<LCOにおける要求例>

これまで（既存設備）

<圧力抑制プール、復水貯蔵槽>

原子炉への給水、圧力を下げるために
水源として必要水量を確保

+

今後（既存設備+SA設備）

<大容量送水車（海水取水用）> 1台の稼働で、必要な水量を確保可能



要求数	配備数
2台 ※要分散配置	3台

<常設型モニタリングポスト>

LCOとして要求は無いが、周辺環境への
放射性物質の影響を確認するため、
9台の設置が保安規定で要求

+

<可搬型モニタリングポスト> 常設型（9台）が故障した際に代替として使用



要求数	配備数
15台	16台

参考：運転上の制限（LCO）とは

- 保安規定では、多重の安全機能を確保するため、動作可能な機器の必要台数、温度や圧力の制限等を定めており、規定の時間内に復旧すれば通常状態に戻る
- 復旧できないと運転停止に至る場合もあるが、モニタリングポストや使用済燃料プールの監視設備等は、原子炉の運転に直接的に影響を与えるものではないため、運転停止とならない

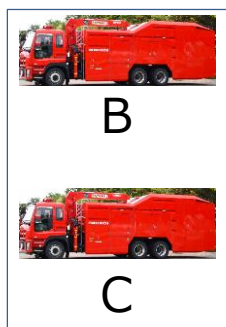
<LCO逸脱の例>

①大容量送水車（海水取水用）は、1台以上かつ分散配置が要求事項。予備を含め計3台（A,B,C）を配備

<荒浜側高台>



<大湊側高台>



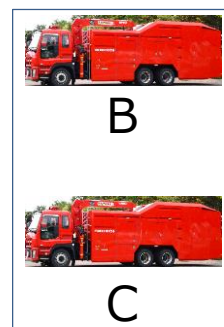
②Aが故障した場合、分散配置が出来ていないため、LCO逸脱

LCO逸脱

<荒浜側高台>



<大湊側高台>



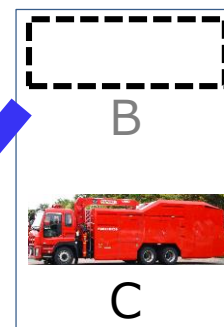
③Bを移動させることで、LCO逸脱を解消

移動させることでLCO逸脱を解消

<荒浜側高台>



<大湊側高台>



3. LCO逸脱の未然防止、早期検知対策

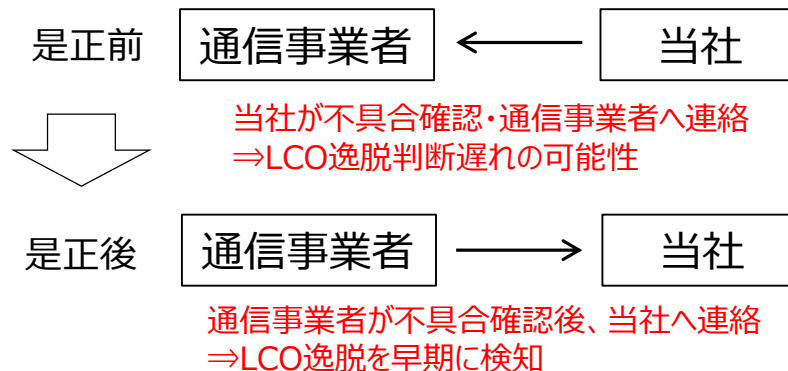
- 新規制基準に基づく保安規定は、昨年度から試運用を行い、「LCO逸脱を未然に防ぐ対策」「LCO逸脱を早期に検知する対策」をCAP活動を通じて検討・実施

<未然に防ぐ対策例>

- ✓可搬型気象観測装置の定例試験（1回/3か月）を実施したところ、5号機の緊急時対策所で計測データが表示されないことを確認（保安規定適用後はLCO逸脱に該当）
- ✓調査の結果、通信事業者推奨の角度で設置された固定アンテナの電波受信レベルが低いことによるものと判明
- ✓アンテナの角度を是正し、電波受信レベルを向上

<早期に検知する対策例>

- ✓衛星電話設備（常設）の動作不能を確認したため、通信事業者に連絡（保安規定適用後はLCO逸脱に該当）
- ✓その結果、通信事業者の衛星回線不具合を確認
- ✓通信事業者の回線不具合時には、通信事業者から連絡が入るよう体制を構築。また、使用する衛星（衛星通信会社）の多様化も検討中



プレス公表（運転保守状況）

2024年4月11日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

発生日

2024年3月27日

号機

6

件名

原子炉建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年3月26日午前9時55分頃、6号機可燃性ガス濃度制御系室において、耐火壁設置作業に従事していた協力企業作業員が、鋼材を運搬中に右足甲へ落下させ負傷（出血）しました。

なお、本人に意識はありますが、自立歩行はできない状況です。身体に放射性物質による汚染はありません。

【対応状況】

病院で診察の結果、「右第2中足骨開放骨折」（通院加療、全治3か月）と診断されました。

今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2024年3月27日にお知らせ済み）

①

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日
号機	6	件名	中央制御室換気空調系給気エアフィルタ破損について（区分：Ⅲ）	発生日	2023年8月8日
号機	5	件名	原子炉建屋（管理区域）における水の漏えいについて（区分：Ⅲ）	発生日	2023年11月21日
号機	6	件名	廃棄物処理建屋（管理区域）における水たまりの発見について（区分：Ⅲ）	発生日	2024年2月16日

不適合情報

2024年3月14日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン補機冷却海水系ストレーナー(A) 差圧発信器の計器均圧弁が、全開できないことを確認した。当該弁を交換。	2024/03/05	
2	5号機	サービス建屋(管理区域)のシャワードレン系排水口に排水不良を確認した。調査の結果、排水配管の詰まりと推定。当該配管を点検・清掃。	2024/02/19	
3	6号機	非常用ディーゼル発電機(A) 定例試験において、機関出口冷却水温度指示計の指針にずれを確認した。当該温度計を点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/03/06	

不適合情報

2024年3月15日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/03/08	
2	4号機	原子炉水位調整にともなう原子炉冷却材浄化系による排水操作において、排水流量指示計の指針にずれを確認した。当該流量計を交換。	2024/03/01	
3	5号機	中央制御室において、復水ろ過装置／復水脱塩装置制御盤故障の警報の発生を確認した。コンピューター(2)記憶装置の不具合と推定。当該記憶装置を点検・修理。	2024/03/12	
4	6号機	タービン建屋(管理区域)高圧ドレンポンプ室内階段に、誘導灯(2箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/03/13	

不適合情報

2024年3月18日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側補助建屋送風機(A)を、起動できないことを確認した。当該事象の原因を調査し、点検・修理。	2024/03/13	
2	1号機	シャワードレン系収集ポンプ(A)シール水弁の電磁弁に、作動用空気の漏えいを確認した。漏えい箇所を特定し当該弁を修理。	2024/03/11	
3	1号機	所内蒸気供給配管の所内蒸気戻り系蒸気凝縮水排水装置バイパス弁に、微量のシートパスを確認した。当該バイパス弁を点検・修理。	2024/03/11	
4	3号機	タービン建屋補機冷却水系熱交換器(A)伝熱管の渦電流探傷試験において、伝熱管内部の付着物(海生物、塩)により検査できない伝熱管(37本)を確認した。当該伝熱管を閉止。なお、閉止する伝熱管は累計で49本となり、管理値(90本)以下のため熱交換器の機能に影響なし。	2024/03/05	
5	4号機	原子炉補機冷却水ポンプ(D)点検において、シャフトに許容値を超える減肉を確認した。当該シャフトを修理。	2024/03/12	

不適合情報

2024年3月19日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋排風機(A)(B)(C)のフィルター点検において、フィルターの破損(A:61箇所、B:20箇所、C:60箇所)を確認した。当該フィルターを交換。	2024/03/14	
2	3号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器(A)の差圧指示値が、管理値を逸脱していることを確認した。調査の結果、計器指針のずれと推定。当該計器を点検・修理。	2024/03/13	

不適合情報

2024年3月21日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	海水熱交換器建屋1階(非管理区域)取水口廻りろ過水供給元弁付近の保温材から、水が滴下していることを確認した。ろ過水供給配管に微小な孔が発生したものと推定。漏えい箇所を特定し当該配管を修理。	2024/03/17	
2	1号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩装置(B)出口導電率計に指示不良を確認した。当該計器を交換。	2024/03/15	
3	1号機	中央制御室において、タービン建屋換気空調系制御盤異常の警報の発生を確認した。調査の結果、給気風量コントローラー電源装置の不具合と推定。当該電源装置を交換。	2024/03/13	
4	3号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩装置(A)出口側サンプル入口弁が自動で開できないことを確認した。調査の結果、弁の動作不良と推定。当該弁を点検・修理。	2024/03/13	
5	5号機	防火設備点検において、海水熱交換器建屋(A)非常用給気1階防火ダンパーに作動不良を確認した。関連エリアでの火気作業を禁止し、当該ダンパーを交換。	2024/03/08	
6	5号機	中央制御室において、ジェットポンプ制御盤異常の警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、プラント停止中のため原子炉系統への影響なし。	2024/03/17	
7	その他	副防護本部入口扉が内側から解錠できないことを確認した。自然復旧したことから一時的な解錠ボタンの接触不良と推定。当該扉を点検・修理。	2024/03/15	

不適合情報

2024年3月22日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	原子炉建屋付属棟1階(非管理区域)南西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/03/18	
2	6号機	原子炉建屋1階(管理区域)事故時サンプリング操作盤室高所壁面の端子箱内に、古いタバコの吸い殻を発見した。当該タバコを回収済み。当該事象および管理区域へのタバコの持ち込み禁止を周知。	2024/03/19	
3	6号機	静止型無停電電源装置(6C)の直流電流計性能試験において、指示値の誤差が判定値を逸脱していることを確認した。当該電流計を交換。	2024/03/18	

不適合情報

2024年3月25日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉補機冷却水系熱交換器(A)伝熱管の渦電流探傷試験において、判定基準を超える減肉(15本)を確認した。当該伝熱管を交換。なお、伝熱性能は確保できていたことから機能喪失はしていない。	2024/03/18	
2	4号機	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機の排気管点検において、排気管に煤が付着していることを確認した。調査の結果、配管蛇腹部に微小な孔が発生し排気ガスが漏えいしていたことを確認。当該事象の原因を調査し排気管を修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/03/21	
3	7号機	タービン建屋天井クレーンを廃棄物処理建屋からタービン建屋に移動する際にクレーン用緩衝装置と廃棄物処理建屋への侵入防止ストッパーが接触したことを確認した。当該設備を点検・修理。	2024/03/21	
4	その他	大湊側焼却設備排ガスクーラーバイパス弁点検において、当該バイパス弁が動作しないことを確認した。調査の結果、弁体が全開状態での固着と推定。当該弁を修理。	2024/03/19	

不適合情報

2024年3月26日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン補機冷却水系熱交換器(B)貝殻除去装置ブロー弁に、微量のシートパスを確認した。当該弁を修理。	2024/03/14	
2	6号機	コントロール建屋常用電気品区域空調機の防火ダンパーが、開状態で固着していることを確認した。火災防護設備の機能確認を行い、当該ダンパーを修理。	2024/03/14	

不適合情報

2024年3月27日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	取水口除塵装置洗浄ポンプ(C)吐出逆止弁交換後の動作確認において、過負荷によりポンプが自動停止したことを確認した。調査の結果、ポンプの固着によりモーターが回転しなかったものと推定。当該ポンプを修理。	2024/03/22	
2	5号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)点検において、圧縮機予備弁の弁棒付け根部に微量な冷媒の漏えいを確認した。当該予備弁を交換。	2024/03/19	
3	5号機	防災監視盤に、原子炉建屋No. 2ピットサブドレンポンプ(地下水汲み上げポンプ)故障警報の発生を確認した。調査の結果、保護継電器が作動していることを確認。当該事象の原因を調査し修理。	2024/03/25	

不適合情報

2024年3月28日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	低圧電源盤1SB-1受電遮断器冷却ファンに、微小な異音の発生を確認した。軸受などの劣化によるものと推定。当該冷却ファンを交換。	2024/03/17	
2	1号機	取水口廻りろ過水供給配管の不具合対応において、ろ過水供給元弁のシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2024/03/21	
3	2号機	原子炉補機冷却水系熱交換器(C)伝熱管の渦電流探傷試験において、判定基準を超える減肉(3本)を確認した。当該伝熱管を交換。なお、伝熱性能は確保できていたことから、機能喪失はしていない。	2024/03/20	
4	3号機	電解鉄イオン注入系ストレーナー(A)漏えい試験において、上蓋パッキン部に微量な海水のにじみを確認した。ストレーナーを(B)に切り替え修理。	2024/03/19	
5	4号機	原子炉補機冷却海水系(B)点検後の水張りにおいて、原子炉補機冷却海水系およびタービン補機冷却海水系の熱交換器注入流量計の指示値が上昇していることを確認した。調査の結果、タービン補機冷却海水系鉄イオン注入設備戻り逆止弁が開状態で固着して、逆流しているものと推定。当該逆止弁を点検・修理。	2024/03/25	

不適合情報

2024年3月29日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	電気設備点検において、南新潟幹線1号の電力計特性試験結果が管理値を逸脱していることを確認した。電力計の動作不良と推定。当該電力計を交換。	2024/03/18	
2	1号機	コントロール建屋(管理区域)の南東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/03/23	
3	4号機	250V蓄電池の定例点検において、No. 49、57セルの電解液比重が管理値を下回っていることを確認した。管理値を下回った不良セル数(18.3%)が全セル数交換の管理値(8%)を超過したため、全セル交換。なお、容量試験の結果、機能への影響なし。	2024/03/19	
4	6号機	可燃性ガス濃度制御系室において、耐火壁設置作業に従事していた協力企業作業員が鋼材を運搬中に右足甲へ落下させ、負傷(出血)したことを確認した。自立歩行できなかったことから救急車を要請し病院へ搬送。診察の結果、右第2中足骨開放骨折と診断された。事例の周知を行い注意喚起を実施。 【2024年3月27日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20240327p.pdf	2024/03/26	
5	6号機	高圧ドレンタンク室水銀灯のフレキシブル管が破損し、電源ケーブルが露出していることを確認した。電源を停止し、水銀灯を交換。	2024/03/27	
6	6号機	タービン建屋3階(非管理区域)原子炉区域/タービン区域給気処理装置室の非放射性スチームドレン系排水口の通水確認において、排水不良を確認した。調査の結果、配管の詰まりと推定。当該配管を交換。	2024/03/21	
7	その他	核セキュリティ設備工事の年度末事務処理確認において、システム上での処理を行わないまま工事を行っている件名があることを確認した。なお、書面での承認処理は行われており、手続き上の問題なし。類似事項がないことを確認するとともに、事象の周知を行い再発防止を徹底。	2024/03/14	

不適合情報

2024年4月1日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	酸素ガス流量コントローラーに、警報ランプの点灯およびデジタル指示値の点滅表示を確認した。コントローラーの故障と推定。当該事象の原因を調査し修理。	2024/03/26	

不適合情報

2024年4月2日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 11件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室において、スクラムタイミングレコーダー装置(検査時に制御棒のスクラム動作にかかる時間を測定する装置)制御盤内の冷却ファンに、異音の発生を確認した。当該ファンの電源を停止。当該ファンを交換。	2024/03/22	
2	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器(A)貝殻除去装置ブロー弁の開動作中に、過負荷を示す警報の発生を確認した当該弁を点検・修理。	2024/03/25	
3	1号機	β ・ γ 線用警報付きポケット線量計の年次点検において、 γ 線照射時の指示値が判定基準を逸脱している線量計(2台)を確認した。当該線量計を使用禁止。前回点検以降の使用実績を調査し、使用者の影響評価を実施。	2024/03/29	
4	2号機	放射性廃棄物処理設備における高電導度廃液系濃縮装置(B)濃縮廃液タンク切替弁(B)の電磁弁に、作動用空気の漏えいを確認した。当該弁を交換。	2024/03/27	
5	2号機	放射性廃棄物処理設備における高電導度廃液系濃縮装置(B)濃縮廃液タンク切替弁(C)の電磁弁に、作動用空気の漏えいを確認した。当該弁を交換。	2024/03/27	
6	2号機	原子炉補機冷却海水系ストレーナー(A)差圧計元弁を全閉できないことを確認した。当該元弁を交換。	2024/03/01	
7	2号機	取水口除塵装置スクリーン洗浄ポンプ(A)軸封部排水元弁ハンドルが脱落していることを確認した。当該弁を交換。	2024/03/04	
8	3号機	中央制御室において、給水流量制御装置軽故障の警報発生を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2024/03/22	
9	3号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)の南西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/03/27	
10	4号機	中央制御室温度調節指示計の変換器において、計器精度が管理値を逸脱していることを確認した。当該変換器を交換。	2024/03/22	
11	6号機	静止型無停電電源装置(6C)点検後の直流・交流変換装置起動操作において、故障警報が発生し自動停止したことを確認した。接続部の接触不良と推定。当該事象の原因を調査し修理。	2024/03/26	

不適合情報

2024年4月3日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	500kVオシロ起動盤(3)5号主変圧器故障時間計点検において、時間計が作動していないことを確認した。当該計器を交換。	2024/03/27	
2	3号機	変圧器防災装置起動試験において、低起動変圧器(3SB)の噴霧ノズル(28箇所のうち2箇所)に詰まりを確認した。当該ノズルを点検・修理。	2024/04/01	
3	4号機	非常用ディーゼル発電機(B)の試運転において、排気管周辺からモヤが発生していることを確認した。試運転を中止。当該事象の原因を調査し対応策を検討。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/03/29	
4	6号機	タービン補機冷却海水系ポンプ点検において、予備機ディスチャージケーシングの吐出フランジ下部に腐食を確認した。当該腐食部を修理。	2024/03/28	
5	その他	発電所構内山林の伐採作業において、移動中のバックホーのアームが架空線に接触し切断(2本の内1本)させたことを確認した。切断された架空線は端末処理され現在使用されておらず、切断による他の設備への影響なし。再発防止対策を検討し徹底。	2024/03/28	

不適合情報

2024年4月4日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	海水熱交換器建屋A系非常用給気エアフィルタ差圧計の指示が、管理値を逸脱していることを確認した。当該計器を点検・修理。	2024/04/01	
2	5号機	タービン建屋地下1階(管理区域)気体廃棄物処理系計装ラック前通路に、古いタバコの吸い殻(1個)を発見した。当該タバコを回収済み。当該事象および管理区域へのタバコの持込禁止を周知。	2024/04/02	
3	5号機	タービン建屋(非管理区域)西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/04/02	

不適合情報

2024年4月5日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン補機冷却海水系熱交換器(B)伝熱管の渦電流探傷検査において、減肉率の判定基準を超える伝熱管(5本)を確認した。当該伝熱管を閉止。なお、伝熱管の閉止本数は管理値以下(90本のうち7本)で、熱交換器の機能に影響なし。	2024/01/30	
2	5号機	窒素ガスパージ用蒸発器の配管に、腐食を確認した。当該配管を点検・修理。	2024/04/01	
3	5号機	タービン建屋(非管理区域)東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/04/02	
4	7号機	制御棒駆動機構系空気圧力調整弁入口フィルター(B)本体のドレン量確認窓のガラスが破損し、空気が漏れいしていることを確認した。調整弁入口フィルターを(A)に切り替え。当該確認窓のガラスを交換。	2024/04/03	

不適合情報

2024年4月8日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	所内蒸気(1系)を停止したにもかかわらず、所内蒸気戻り系凝縮水排水装置入口弁の温度が低下しないことを確認した。凝縮水排水装置出口弁またはバイパス弁のシートパスと推定。当該弁を点検・修理。	2024/03/29	
2	4号機	原子炉補機冷却海水系熱交換器(B)海水ストレーナーを手動洗浄しても、差圧が通常時より高いことを確認した。ストレーナーまたは排水配管の詰まりと推定。当該ストレーナーおよび配管を清掃。	2024/04/01	

不適合情報

2024年4月9日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	循環水ポンプ建屋天井クレーン点検において、走行レール継目のずれおよび隙間間隔が判定基準値を逸脱していることを確認した。当該レールを修正。	2024/04/02	
2	3号機	原子炉建屋管理区域の北西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/04/03	
3	3号機	タービン建屋管理区域の北東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/04/03	
4	5号機	大湊側周辺防護区域(屋外)の竜巻固縛装置に異常を示す警報が発生し、中央制御室から遠隔起動できないことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、現場での起動は可能なため、機能に影響なし。	2024/03/19	
5	6号機	原子炉補機冷却水系(C)熱交換器室海水ストームドレン処理系排水ポンプの吐出配管継手部に、ひび割れおよび微量な漏えいを確認した。コーキングにて仮補修。当該接続部を交換。	2024/03/25	
6	その他	過去に国へ提出した設計情報質問書(保障措置関連の文書)を確認していたところ、記載事項に誤りがあることを確認した。当該事象について国に報告し、訂正版を作成・提出。	2024/04/04	
7	その他	緊急時対策用可搬型設備の点検において、泡原液車(2台)、代替交流電源車(6台)、代替注水ポンプ(5台)、タンクローリー(4台)、ホイールローダー(1台)に腐食を確認した。当該設備を修理。なお、腐食箇所は保護カバーや収納ボックス等で機能に影響なし。	2024/04/04	

核物質防護に関する不適合情報

2024年3月19日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視用の照明が、正常に消灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用の照明であったことから、代替措置は不要と判断した。	2023/3/2	
2	不適合を管理しているシステムにエラーが発生したため、ログを基に事象前の状態に修正した。 調査の結果、システムの不具合であったことから、システムを修正し、正常な状態に復旧した。	2023/9/29	
3	監視モニターの映像が、映らないことを確認した。 他のモニターにて監視機能は維持。 調査の結果、設定による不具合であったことから、設定を変更し、正常な状態に復旧した。	2024/1/25	
4	監視に使用するパソコンの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設定による不具合であったことから、設定を変更し、正常な状態に復旧した。	2024/2/13	
5	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該検知器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/2/20	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2024年4月2日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器の切替作業を実施し、当該検知器の運用前の性能試験において誤った配線で施工したことを確認したため、配線を修正し、正常な状態に復旧した。 調査の結果、作業手順書に不備があったことから、作業手順の整備および基本動作の徹底について関係者へ教育を実施した。	2024/2/8	
2	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認したため、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 調査の結果、当該検知器とは別の箇所での作業において、作業手順を誤って実施したことにより、当該検知器に不具合が生じたもの。	2024/1/25	
3	対策として、作業手順の遵守について関係者へ教育を実施した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/1/26	

4. 公表区分その他 12件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2022/8/26	
2	核物質防護用発電設備における排煙設備の一部機能が正常に動作しないことを確認した。 発電機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該設備を交換し、正常な状態に復旧した。	2021/10/28	
3	監視モニターの映像が、一部乱れることを確認した。 監視機能は維持。 その後、原因調査中に自然復旧したことを確認した。 調査の結果、設備面に異常はなく再現性もなかったことから、一過性の不具合と判断した。	2023/8/9	
4	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 監視機能は維持。	2024/2/11	
5	調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該照明器具を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/3/8	
6	監視カメラの一部機能が、正常に動作しなくなり、その後自然復旧したことを確認した。 調査の結果、設備面に異常はなく再現性もなかったことから、一過性の不具合と判断した。	2023/11/23	
7	核物質防護上の扉における認証装置が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉の出入りを一部制限した。	2023/12/25	
8	核物質防護上の扉の一部に破損を確認したことから、破損箇所を修理し正常な状態に復旧した。 障壁機能は維持。 調査の結果、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2024/2/2	

NO.	不適合事象	発見日	備考
9	監視モニターの映像が、一部乱れることを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設定による不具合であったことから、設定を変更し、正常な状態に復旧した。	2024/2/6	
10	核物質防護上の扉が、正常に施錠できないことを確認した。 調査の結果、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。 設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の障壁機能は、代替措置にて維持した。	2024/2/14	
11	監視カメラが、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/2/28	
12	核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の障壁機能は、代替措置にて維持した。	2024/3/11	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2024年4月9日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、施工時に雨水が侵入したことによる設備面の不具合と推定されたことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/11/25	
2	刃物類を持ち込む際の必要書類は、複写できない専用紙で提出する運用であったが、協力企業から提出された書類について、周辺防護区域での委託警備員による点検では専用紙でないことに気付かなかったが、防護区域境界での別の委託警備員による点検ではそれを発見し、入域を制止した。 調査の結果、当該書類の確認手順が明確でなかったこと、および書類を提出した協力企業作業員は専用紙の運用を認識していなかったことを確認した。 対策として、書類確認手順を明確化し手順書に反映の上、関係者に周知するとともに、複写できない専用紙での運用を当該協力企業に周知した。	2024/3/5	

- 4. 公表区分その他 4件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/9/1	
2	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該検知器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/2/6	
3	核物質防護上の扉における付属機器の一部に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し正常な状態に復旧した。 障壁機能は維持。 調査の結果、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2024/2/21	
4	発電所構外の店舗より、入構証を拾得したとの連絡があり、協力企業作業員が当該入構証を紛失していたことを確認した。 調査の結果、入構証の取り扱いルールが厳密には守られていなかったことから、当該作業員および関係者へ入構証の取り扱いルールについて再教育を行った。 なお、入構証は当該作業員に返却され、不正使用も確認されなかった。	2024/3/19	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2024年4月)

2024年4月11日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定検による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (3月末現在)

3月	0.0%
2023年度累計	0.0%
運転開始後累計	38.9%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (3月末現在)

3月	0
2023年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (3月末現在)

当月発生本数	280
貯蔵庫累積貯蔵本数	29,683
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2023年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (4月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率 ^{※1}
県内	柏崎市	859	2,258	54%
	刈羽村	71	212	5%
	その他	152	1,032	20%
	小計	1,082	3,502	79%
県外		116	1,095	21%
合計		1,198	4,597	-
		5,795 ^{※2}		100%
協力企業社数(社)		685		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
 ※2 参考: 4月1日の構内入構者数4,466人

⑦ 来客情報(人) (3月末現在)

	3月	年度累計
地元	783	10,910
県内	377	5,262
県外	465	6,532
国外	10	186
合計	1,635	22,890

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
4月21日	サービスホールイベント
4月25日	定例所長会見(予定)
5月9日	定例記者説明会(予定)

インターネットホームページアドレス

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)